

第 34 回 空気シンポジウム開催報告

今年度の空気シンポジウムも対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、対面にて 65 名、オンラインで 68 名、計 133 名の方にご参加頂いた。野中俊宏先生（アビ環研）の司会で、鍵直樹先生（東京科学大学）による開会挨拶、吉野博先生（東北大学）による趣旨説明の後、（１）基調講演として、岡田早代先生（自然エネルギー財団上級研究員，Cube Zero 代表，Wentworth Institute of Technology 客員教授）にご講演頂いた。続いて（２）現在刊行に向けて進んでいる「AIJES 気密性能に関する規準・同解説」に関する内容について、倉渕隆先生（東京理科大学）から気密の必要性、村田さやか先生（北海道立総合研究機構）から気密性能の目標値と基準、桃井良尚先生（福井大学）から気密性能の測定方法と評価方法ほかについて、鳥海吉弘先生（東京電機大学）から気密化で留意すべき点と気密の耐久性についてそれぞれご講演頂いた。続いて（３）パネルディスカッションとして、米国における気密に対する人々の認識や考え方、施工法などについて、また、国内の現状と今後の見通し、規準内の式の考え方などに関して会場参加・オンライン参加双方からの質問にパネリストが回答する形で行われた。最後に（４）大岡龍三先生（東京大学）にまとめて頂いた。

シンポジウム終了後には懇親会を開催し、活発な研究交流を行った。



シンポジウム会場の様子
(九州大学 筑紫ホール)



懇親会の様子
(九州大学 ぞんね)